



# 18禁BLゲーの世界に 転移しました!?

~登場人物全員イケメンで  
俺の事を犯してきます~

## 第二話 学校



主人公  
うろろ 隼  
虚本 隼



18禁BLゲーの世界に  
転移しました!?

～登場人物全員イケメンで  
俺の事を犯してきます～

## キャラクター紹介



うつろぎ ゆい  
**虚木 唯**

主人公。突然自分がやっていた  
BLゲームの世界に転移した。

「皆イケメンだしラッキー☆」と思ってる。  
沢山の人に犯されたい願望アリ。



**同級生**

同じクラスの背の高いイケメン

痴漢された動画を撮ったと言われて…♡

\*学校（トイレで立ちバック）

学校に着くなり、身長の高いイケメンに廊下で壁ドンされた。

「オイ、虚木（うつろぎ）。ちょっとツラ、貸せよ」

「え…」

ちなみに虚木とは俺の苗字だ。虚木唯（うつろぎゆい）という。

長身イケメンは俺の肩まで顔を近づけると、クンクンと首筋を嗅いできた。

（あ、やば……汗臭いかな？ 電車で痴漢されて汗かいちゃったし）

「えっと、臭う？」

「……別に。なんかお前の首筋に流れる汗が色っぽいからさあ。甘い匂いでもすんのかと思った」「え、何ソレ？」

からかわれてるのかな？と思ったが、長身イケメンは真面目な顔をしていた。その頬が若干赤い。イケメンは、俺の首筋を見て「ごくり♡」と生唾を飲み込んだ。

「ちょっと舐めてもいいか？」

「えっ！？ちよっ、やめ…♡ッ！？♡」

長身イケメンは俺が逃げられないように両肩を掴むと、俺の首筋に顔を沈めた。イケメンがれろりと俺の首筋を舐めた。

「んっ♡」

熱い舌が首筋を舐めたかと思えば、丹念に汗を舐めとられる。ちゅぱっ♡ちゅぱっ♡と吸い付く音と水音が廊下に響き渡る。

誰か来るかも知れない廊下で、こんな風に舐められている……♡俺はそれを意識すると、自分のチンコがジン…♡と熱を持つのを感じた。

「ちょっ♡やめようよ♡」

「もうちょっと…♡んっ♡」

ちゅぱっ♡ちゅくちゅく♡

首筋で喋られると、彼の吐息がかかって俺は震えた。今朝、リーマンたちにいじくられた乳首がまた敏感に反応して、触られていないのにジンジン♡してきた。

長身イケメンは俺の体にもたれかかると、股間をグ

リグリと押し付け来た。固くなった彼の股間を押し付けられて、彼も興奮しているんだ♡と思った。

「はぁ♡はぁ♡」

「んっ♡なあ、虚木。お前ってエロい体してるよな…  
…♡俺にチンコ押し付けられて、ドキドキしてるの？  
心臓、凄く速く動いてるけど」

「あっ♡胸揉まないで…♡」

長身イケメンが俺の胸を、大きな手のひらで揉んできた。心臓の音もうるさいけど、乳首も勃起しているのがバレそうで恥ずかしい。

俺のパンツがジワリと濡れていくのを感じた。俺の太ももに押し付けられた彼の股間は固くて、熱を持っており、いやらしく足になすりつけられる。

「ッ♡ふーっ♡ふーっ♡」